

事業番号	04 07 02	事業改善シート（令和2年度実施事業分）	当初要求	<input type="checkbox"/> 当初予算案	<input type="checkbox"/> 補正予算案	■点検
事業名	子ども・若者育成支援事業	部局	県民文化部	課・室	次世代サポート課	
		実施期間	S28～	E-mail	iisedai@pref.nagano.lg.jp	
総合5か年計画（しあわせ信州創造プラン2.0）						
8つの重点目標	2025年に県民希望出生率1.84を実現					
総合的に展開する重点政策	5-5 子ども・若者が夢を持てる社会づくり					

## 1 事業の概要

事業の現状・目指す姿 (予算編成時)	【現 状】
	【目指す姿】
	【実施内容】

子ども・若者を取り巻く環境は近年急激に変化し、子どもの性被害やいじめなどインターネット・スマートフォンに起因する青少年に関する様々な問題の発生や、ニートやひきこもりの若者の増加、また不登校、発達障がいなど、子ども・若者に関する問題が深刻化してきている。



長野県の全ての子ども・若者が健やかに育つことができ、また支援を必要とする子ども・若者を支えることができることを目指す。

チャイルドライン推進協議会への補助、青少年問題協議会の開催、子ども・若者支援地域協議会の運営、子どもの個性を伸ばす教育研究モデル事業、将来世代応援県民会議への補助など

指標の状況及び目標値 [↑:改善、↓:悪化、→:変化なし]							事業 コスト	区分(単位:千円)	R1年度	R2年度
No	成果指標	H30年度	R1年度	R2年度	目標値	達成状況		前年度繰越		
1	子どもの性被害防止やインターネット適正利用推進のための研修会等への助成回数	120	134	↑	86	↓	140	未達成	前年度繰越	
2	「信州子どもカフェ」の設置数	82	117	↑	133	↑	130	達成	現計予算	148,504
3	子ども・若者支援地域協議会における要支援者の支援完了及び継続者の割合(%)	88	86	↓	90	↑	現況以上	達成	合計(A)	148,504
4	助成団体における要支援者の自立の割合(%)	23	20	↓	22	↑	25	未達成	うち一般財源	94,019
								決算額(B)	138,056	148,345
								職員数(人)	10	10

成果指標 設定理由	<p>No.1 地域における性教育、人権教育、情報モラル教育についての研修会等に助成し、県民の主体的な学びを推進することにより、子どもの性被害の防止やインターネットの適正利用を推進する。</p> <p>No.2 学習支援や食事提供など複数の機能を有する子どもの居場所であり、地域の大人との関わりを通じて、様々な困難を乗り越え、成長する力を育むことを目的とする「信州子どもカフェ」の設置拡大を目指す。</p> <p>No.3 子ども・若者支援地域協議会の運営を通して、ニートやひきこもり等の困難を抱える子ども・若者（要支援者）に対する、関係機関の効果的な連携による支援を推進する。</p> <p>No.4 要支援者に対して出口戦略を持って専門的に対応する民間団体を支援することにより、子ども・若者の社会的自立を目指す。</p>
--------------	--

達成状況 の分析	<p>No.1 新型コロナウイルス感染症の影響により、研修会の開催に慎重となり、件数が減少</p> <p>No.2 運営費の負担増を支援するため、補助金を増額したほか、フードドライブによる食料支援等により設置数が増加</p> <p>No.3 関係機関同士の連携が促進されたことにより支援が中断されるケースが減少し、目標を達成できた</p> <p>No.4 民間団体を支援することにより一定の自立につながっているが、自立までに長期間かかるケースが多く目標値には届かなかった</p>
-------------	---

主な取組	<ul style="list-style-type: none"> <li>✓ <b>子どもの居場所づくりの推進</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>信州子どもカフェの食材費などの運営費助成による取組の推進 信州子どもカフェ箇所数：117 (R1)⇒133 (R2)</li> <li>信州子どもカフェの所在地などが分かる信州子どもカフェマップ作成 配布部数：40,000部 配布先：市町村、民生児童委員、信州子どもカフェ</li> <li>県庁・合同庁舎でのフードドライブの開催 延べ43回開催 16,676kg</li> </ul> </li> <li>✓ <b>子ども・若者支援地域協議会事業の推進</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>発達障がい等により困難を有する方々の状況に応じた相談支援の実施 協議会事務局：県下4箇所 相談支援者数：285人(R2)</li> <li>「自立」や「就労」に向けた準備のための居場所の開設 居場所延べ利用者数：335人(R2)</li> </ul> </li> <li>✓ <b>長野県将来世代応援県民会議の取組</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>子どもの性被害予防及び情報モラル向上のための研修会の実施 実施回数：86回 参加人数：7,532人</li> <li>ネットトラブル相談事業 相談件数 267件</li> </ul> </li> </ul>	 <p>信州子どもカフェマップ</p>  <p>活動の様子</p>
------	--	---

## 2 今後の事業の方向性

	課 題 等	今後の方向性
今後、事業をどのようにしていきたいか	<ul style="list-style-type: none"> <li>・発達障がい者に対しては、各年代を通して一貫した支援が必要だが、乳幼児期の当事者家族周辺への啓発や世代、分野をまたぐ支援の引継ぎに課題がある。</li> <li>・信州子どもカフェは県下133か所となり、昨年より16か所増加したが、身近な地域の居場所としてはまだ不足している。</li> <li>・子どもの性被害予防及び情報モラル向上について、コロナ禍のため人が集まる研修を控える傾向があった。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・発達障がいについて、広く一般向けだけでなく、ターゲットを絞った普及啓発を行う。発達障がい者支援対策協議会において分野を超えた合同部会を開催し、支援の引継ぎ方法を整理検討する。</li> <li>・信州子どもカフェの運営支援や担い手の育成等を通じて信州子どもカフェの設置を推進する。</li> <li>・コロナ禍によるステイホームの影響等によりネットトラブルが増加しているため、オンラインでの研修会開催等を働きかける。</li> </ul>

事業番号 04 07 02 細事業一覧（令和2年度実施事業分） 当初要求 当初予算案 補正予算案 点検

事業名	子ども・若者育成支援事業	部局	県民文化部	課・室	次世代サポート課
-----	--------------	----	-------	-----	----------

細事業 No.	細事業名	R1年度 決算	R2年度 決算
1	青少年の健全育成事業	21,818 千円	18,953 千円

No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和2年度 実施内容(実績)
1	青少年問題協議会開催事業	直接	子ども・若者支援に関する総合的な計画及び、子どもを性被害から守るための取組について審議した。
2	健全な社会環境づくり事業	直接	子ども・若者育成支援推進本部による県民運動の推進や、子どもを性被害から守るための啓発物品を作成し、周知啓発を行った。
3	長野県将来世代応援県民会議（青少年育成事業）補助事業	補助金	青少年健全育成運動を行う長野県将来世代応援県民会議に対し、補助金（青少年サポーター設置事業、子どもの性被害予防のための取組支援事業、青少年インターネット適正利用推進協議会事業など、子どもの性被害予防関係事業を含む）を交付した。 補助金交付先：長野県将来世代応援県民会議
4	チャイルドライン支援事業	補助金	18歳までの子どもがかかる相談電話「チャイルドライン」の活動を支援することで、県内の子どもたちの声に寄り添える体制の強化を図った。 補助金交付先：長野県チャイルドライン推進協議会

細事業 No.	細事業名	R1年度 決算	R2年度 決算
2	官民協働の子どもの居場所づくり推進事業	2,698 千円	4,973 千円

No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和2年度 実施内容(実績)
1	信州こどもカフェの推進	補助金	信州こどもカフェや信州こどもカフェ推進地域プラットフォームの運営費を支援 信州こどもカフェ 62か所 信州こどもカフェ推進地域プラットフォーム 7か所

細事業 No.	細事業名	R1年度 決算	R2年度 決算
3	困難を有する子ども・若者支援事業	42,991 千円	51,778 千円

No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和2年度 実施内容(実績)
1	子ども・若者支援地域協議会事業	委託	社会生活上の困難を有する子ども・若者への支援を円滑に行うために、子ども・若者育成支援推進法に基づく地域協議会を運営した。 委託先：(特非)侍学園スクオーラ・今人ほか3団体
2	困難を有する子ども・若者の専門的な自立支援の場応援事業	補助金	社会生活上の困難を有する子ども・若者に対して専門的な自立支援の場を提供する団体を助成することで、県内の子ども・若者支援体制の強化を図った。 補助金交付先：(特非)侍学園スクオーラ・今人ほか2団体
3	発達障がいのある子ども・若者の教育相談支援事業	委託	発達障がいなど認知特性に偏りが見られる児童生徒を対象とした教育相談の支援を行った。 委託先：(特非)翔和学園
4	通信制高校サポート校等就学支援事業	補助金	通信制高校サポート校等を利用する低所得世帯の生徒の経済的負担の軽減を図るため、利用料の一部を支給した。 支給者：72人

細事業 No.	細事業名	R1年度 決算	R2年度 決算
4	発達障がい者支援事業	70,549 千円	72,641 千円
No.	細事業を構成する主な取組	実施 方法	令和2年度 実施内容(実績)
1	長野県発達障がいサポ ート・マネージャー配置事 業	委託	10圏域に発達障がいサポート・マネージャーを配置し、一貫した支援 を提供した。 委託先：(特非)ウィズハートさくほか9団体
2	市町村発達障がい者支援 体制強化事業	委託	10圏域12名の市町村サポート・コーチが、年代や分野を超えて支援者 が情報を共有するツールの普及を図った。 委託先：社会医療法人恵仁会ほか11団体
3	発達障がい者支援セン ター事業	直接	発達障がいサポート・マネージャーや発達障がいペアレント・メン ターの養成研修に加え支援者向けの各種研修の開催等を行った。
4	地域生活支援事業費等補 助金国庫返還金	直接	平成31年度国庫補助金の精算に伴う返還を行った。